



ビデオ通話を活用し、文化の違いを話し合うパネリストの青森高校生徒（前列左の2人）、青森中央学院大の留学生（同右）

## 文化の違いは？ 共通点は？

# アジアの生徒と生討論

青森

青森高校（宍倉慎次校長）は2月25日、同校とアジアの国・地域をオンラインのビデオ通話でつなぎ、文化の違いをテーマにパネルディスカッションを実施した。生徒たちは同世代のパネリストと英語で議論を交わし、刺激を受けた様子だった。

同校生徒に加え、青森中央学院大に留学しているタイ、ベトナム、マレーシアの学生も同校で参加。校内の5会場に分かれ、台湾、シンガポールの生徒と画面越しにやりと

## 青高、オンライン活用

りした。

教育の現状を話題にした会場では、高校を卒業後に大学に進む生徒が比較的多いとの認識で一致した。仕事に対する価値観や新型コロナウイルス対策なども話し合った。

パネリストの一人、鈴木李梨さん（1年）は「皆さん個人の意見を持っていて、違う考えの人も尊重できているのがすごい」と感想を述べた。

伊藤朱里さん（同）は「オンラインが広まって、海外の人とつながる機会がもっと増えたら良いと思う」と話した。

（新村菜穂）

東奥日報 2021年（令和3年）3月5日（金）朝刊 掲載

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです